

# 大津市会議員団ニュース

日本共産党大津市会議員団 大津市西の庄5-16-1  
TEL : 525-1500 FAX : 525-1661 市役所控室 : 524-5613

和邇北浜の被害現場  
住宅の裏の斜面が崩れてしまった



## 市北部を中心に 大雨の被害

停滞する梅雨前線の影響で西日本を中心に局地的な豪雨となり、各地で被害が報告されました。和邇北浜では、住宅の裏山の斜面が幅約30メートル、長さ約50メートルに渡って崩れ、住宅の基礎の一部がえぐられました。住民の方は、

近くの自治会館に自主避難して無事でした。岸本のりこ市議が現地調査を行い、被災された方や自治会長さんと懇談。自治会長は「今回、近隣の方が素早く、非難の声をかけられるなど、日頃からの自治会あがりの活動が役にたった」と話されており、自治会館に対策委員会が設置され、被災された方が少しでも安心できるようにと、会員を中心に当番を決め、大津市や見舞いに訪れる方への対応をされていました。市でも災害警戒本部が設置され、今後の公的な支援のあり方などが検討されます。

その他にも、伊香立途中町の国道477号が、道沿いの土砂崩れで約15メートルにわたって土砂や倒木に覆われたため通行止めとなるなど、北部を中心に、被害が相次ぎました。

## ごみ有料化案の撤回を ——党市議団が市長に申し入れ

党議員団は、7月20日、市長に「ごみ有料化をやめ、住民主役の減量・リサイクルの推進を」と申し入れ、議員団として政策提案を行いました。

ごみ有料化について議論している廃棄物減量等推進審議会は、このほど答申「素案」をとりまとめ、市民意見の募集をしています。党市議団は、これ以上の市民生活への負担は許されない、市としてごみ減量・リサイクル推進のためにもっとやるべきことがあると先進都市の事例を交えて指摘。また、負担の公平化という考え方は自治体のあり方や市民の分断をするもの、と問題点を指摘しました。政策提言では、ごみ減量・リサイクルに対する積極的な理念・目標を掲げるとともに、収集・リサイクルシステムの充実や整備、事業系ゴミの分別の徹

底などを提案。申し入れに対し大津市は、ごみ減量やリサイクルを進めるには提案のように、目標を明確に



市長(右)、環境部長(手前)に申し入れする議員団

示し市民に理解してもらおうことが必要としながらも、他都市のようなりサイクル施策を進めるためには費用の面で問題がある

と回答。有料化については審議会に寄せられる意見を参考に協議してゆくという回答でした。財政的に大変な時期でも、長期的に見ればリサイクル環境を整えることは必要です。他都市で効果があったことは積極的に取り入れ、引き続き啓発に力を入れる事を求めました。申し入れ(見解・提案)全文は、市議団ホームページに掲載しています。  
<http://www.otsu-jcp.net/>



## 参議院選挙の結果に思う

佐々木しよういち

政権交代の後の最初の国政選挙として行われた参議院選挙は、民主党の議席後退という厳しい国民の審判が下りました。

やはり沖縄の問題をはじめ、政治と金の問題、労働者派遣法をはじめとした国民生活改善の願いに背を向けてきた鳩山政権への批判と、その後に登場した菅新首相が消費税の大増税を言い出し、多くの国民がこれに反発した結果だと思えます。

同時に小泉政権の中で構造改革を推進してきた人がリードする「みんなの党」が前進しましたが、破綻した路線を進めてきた人が国民の期待に応えることが出来るでしょうか。

日本共産党は消費税増税反対の世論を広げ、世論の変化を作り出す役割を果たしたものの前進できませんでした。率直に反省を深めつつ、引き続き消費税増税反対をはじめとして、平和と国民生活を守る運動に頑張る決意を新たにしています。

